

いんきんたむしと診断されました。腫れや赤みはないですが、自転車の乗りや風呂から上がった時などにかゆみが出ます。内科や皮膚科で塗り薬をもらい、1日2回使っていますが改善しません。よく効く薬を教えてください。また、感染する恐れはないのでしょうか。(79歳、男性)



### 股部白癬

## 薬の塗りすぎ、別の病気に注意

いんきんたむし(股部白癬)は白癬菌、いわゆる水虫菌と言われるカビの一種が陰部に感染して生じる病気です。水虫を触った手やタオルが陰部に付いて発症します。

大多数の場合、太ももの内側から股部、ひどい時は臀部まで、同心円状に赤みやかさ

陰囊にのみ皮疹がある場合は、白癬ではない可能性が高いです。

顕微鏡で真菌検査を行い、白癬菌が検出されれば診断は確定します。白癬菌に効果のある抗白癬剤を患部に塗れば比較的短い期間で治ります。

それではなぜ、ご相談の方

ですが、ご相談の方は1日2回も塗っています。抗白癬剤の塗りすぎは皮膚炎を引き起こします。薬剤の使用を中止し、皮膚炎の治療を行います。

二つ目は陰部の白癬ではなく、陰部の湿疹や皮膚の感染症である紅色陰癬など、症

は抗白癬剤を外用しているというので、どなたかにかうつる恐れは少ないと考えます。(兵庫県皮膚科医会、赤木竜也 姫路市、赤木皮膚科クリニック院長)  
◇第1、3、4日曜に掲載します

ぶたなどを伴って皮膚が隆起する皮疹が見られます。そして、かゆみも出ます。

これに対して、まれに陰囊や陰嚢に生じることもありませんが、股部白癬に続いて起こる可能性がわずかにあるという程度です。そのため陰嚢や

は症状が改善しないのでしょうか。理由は二つ考えられます。

一つ目は、陰嚢部は薬剤に敏感なため、抗白癬剤にかぶれて皮膚炎が生じている可能性があります。通常、抗白癬剤は1日1回塗れば良いはず

状が似た別の病気であることです。ご相談の方は内科も受診していますが、多くの内科

は真菌検査をできないため、診断を誤った可能性が考えられます。皮膚科に相談してください。質問にある「感染する恐れ」